

女性の職業経歴に及ぼす学歴効果の分析

金城学院大学
十文字学園女子短期大学
お茶の水女子大学

天野 正子
亀田 温子
西村 由美子

I. 課題

本報告のねらいは、女性の職業的形成に教育の果たす機能の一端を明らかにするために、女性の職業経歴と学歴との関連を分析・把握することにある。

職業的形成と教育についてはすでにかなりの研究が蓄積されてきている。

職業的社会化論のアプローチからは、職業選択以前の主として青少年を対象とする調査研究(希望する職業や職業意識について等)や、すでに何らかの分野で職業達成を成し遂げた人々を対象とする調査研究(キャリア選択と学歴の関連など)が行われてきた。

過程としての職業達成は移動研究のアプローチによって分析されてきた。パスモデルを用いた研究の成果に加えて、最近では職業経歴の過程分析を取り入れる試みが注目されている。しかし、これまで移動研究が手がけてきた対象はほとんど男性である。その理由としてあげられてきたのは、女性の社会的地位の確定の困難さ、職業を女性の地位指標とすることの妥当性についての議論、とりわけ男性に比して複雑で把握しにくい女性の職業生活の実態であった。結婚・出産・育児その他の家庭・家族状況による断続を含む女性の職業生活は複雑でとらえにくく、男性の継続した職業生活に比べるとその把握自体も困難だからである。

本報告では、このように困難とされてきた女性の職業経歴の把握を目的とした調査の調査結果に基づいて女性の職業経歴を3つの基本パターンに分類・把握し、これと学歴との

関連の分析を試みる。

II. 調査の概要

ここで用いるデータは、昭和57年度に東京都中野区の依頼により発表者3名を含む研究グループによって立案・実施された調査の結果である。(調査報告書は「雇用されて働く既婚女性の職業と生活」(昭和58年3月中野区)として刊行)

本調査では既婚女性雇用者を対象に、職業経歴の縦断的把握を目的としてその職業生活の変化を時系列的にとらえ、「職業経歴パターン」(学校卒業後初めて職業についてから現在までの連続した職業上の経歴)を抽出するとともに、その関連要因の分析を行なった。(調査結果の概要については日本社会学会において報告した)

II-1 調査方法

調査対象は中野区在住の25才以上50才未満の既婚女子雇用者。母集団の把握がなされていないため、サンプル抽出に際しては既婚女性250人を抽出し、訪問調査で適格者のみをひろい出すスクリーニング方式を採用。適格対象者605人(抽出者中24.2%)、このうち調査が実施できたのは479人(抽出者中19.2%、適格対象者中79.2%)であった。調査員による個別面接調査法により昭和57年9月に実施した。

II-2 調査項目

職業経歴の形成に関連するものとして我々は以下の諸要因を想定している。

① 主体的要因

(本人の属性、価値意識など)

② 家庭・家族要因

(子供・夫の状況、家事・老親介護の状況、世帯収入など)

③ 職業・職場要因

(仕事内容、労働条件など)

④ 社会的要因

(育児等の社会化水準、女性の就労に対する社会意識など)

⑤ 労働市場要因

(労働力の需給状況、雇用制度など)

本調査では①③⑤の要因(及び④の一部)をとり上げて調査項目を作成した。さらに対象者がこれまでに従事した職業についての職業経歴表を作成している。

II-3 職業経歴パターンの設定

女性の職業経歴の分析にあたっては結婚・出産・育児等のライフステージとの関連を考慮する必要がある。本調査では以下の3つの基本的な職業経歴パターンを設定した。

① 継続型——学校卒業後現在まで継続して雇用就労している場合

{ 安定継続型(サブパターン1——転職なし)
{ 転職継続型(サブパターン2——転職あり)

② 再就職型——学校卒業後就職した後、結婚・出産・育児期に離職して中断し、再び雇用就労した場合

③ 中途就職型——学校卒業後就労せず、主として中高年になつて初めて雇用就労した場合

III. 職業経歴とその関連要因

調査結果から、女性の職業経歴に関連する要因として、

① 初職条件(特に職種)

② 職業意識を含む価値意識

③ 本人の学歴

があげられる。しかし、これらの要因は必ずしも等しく職業経歴を規定するものではない。初職条件は学歴によって規定されていると考えられる。また価値意識は学歴と関連し合いさらに初職に影響を与えていると考えられる。本報告ではこの点に注目し、職業経歴の関連要因のうちから特に学歴をとり上げて分析を行なう。

以下、報告は

① 各職業経歴パターンに及ぼす学歴効果

② 初職に対する学歴効果

③ 価値意識への学歴効果

の諸点について明らかにする。

(詳しい資料は発表当日に会場で配布します)